



文化芸術・多文化共生に関する区民意識意向調査の概要報告について

区の文化芸術と多文化共生を推進する「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン」の策定にあたり、区民の意識や意向などを広く把握し、基礎資料とすることを目的に調査を実施した。今般、概要がまとまったので以下のとおり報告する。

1 調査実施概要

(1) 文化芸術に関する調査

	区民	区内中学生	区外住民
調査対象	18歳以上2,000人	区内中学2年生681人	都内他区18歳以上600人
抽出方法	住民基本台帳無作為抽出	区内5地域各1校選出	調査受託者外部モニター
調査方法	郵送配付、郵送回収	学校を通じて配付、回収	WEB依頼及び回答
調査期間	9月20日～10月15日	9月25日～10月15日	11月23日～11月24日
回収結果	有効回収数：699票 有効回収率：35.0%	有効回収数：625票 有効回収率：91.8%	有効回収数：600票 有効回収率：100.0%

(2) 多文化共生に関する調査

	外国人区民	日本人区民
調査対象	18歳以上外国籍区民3,000人	18歳以上日本国籍区民2,000人
抽出方法	住民基本台帳無作為抽出	
調査方法	郵送配付、郵送回収	
調査期間	9月20日～10月15日	
回収結果	有効回収数：738票（有効回収率：25.1%）	有効回収数：785票（有効回収率：39.4%）

2 調査項目

文化芸術に関する調査	(1) 属性（性別、年齢、国籍、居住地域など）	区民 全28問
	(2) 自身の文化芸術に関する行動について	区内中学生 全18問
	(3) 区内の歴史文化資源について	
多文化共生に関する調査	(4) 文化芸術の情報入手について	区外住民 全12問
	(5) 板橋区の文化に関する取組について	
	(1) 属性（性別、年齢、国籍、在留資格など）	
	(2) 生活情報について	日本人区民 全31問
	(3) ことばについて	
(4) 地域での生活や活動について		
(5) 災害など緊急時の対応について		
	(6) 子育てや教育について	
	(7) 地域の外国人との共生について	
	(8) 区が多文化共生に関する取組について	

### 3 調査結果概要 ※[ ]内は前回調査（平成26年度実施）結果

#### (1) 文化芸術に関する調査・主な項目

設問	区民	区内中学生
1年間の文化芸術鑑賞状況 (区民:問4 中学生:問2)	1位:映画(49.1%) 2位:美術(36.9%) 3位:ポピュラー音楽(26.3%) ※鑑賞率:75.8%[79.2%]	1位:映画(69.9%) 2位:美術(24.2%) 3位:クラシック音楽(20.0%) ※鑑賞率:81.6%[72.4%]
文化芸術鑑賞をしなかった理由 (区民:問6 中学生:問3)	1位:仕事や家事、育児が忙しい(28.0%) 2位:興味・関心がない(20.7%) 3位:テレビやインターネット鑑賞(17.7%)	1位:興味・関心がない(41.3%) 2位:勉強や部活、習い事が忙しい(39.4%) 3位:行きたい公演等がない(21.1%)
区等に実施してほしい公演等 (区民:問7 中学生:問4)	1位:国内外の優れた公演等(48.5%) 2位:伝統芸能・郷土芸能(22.6%) 3位:身近な場所での公演等(22.5%)	1位:身近な場所での公演等(18.4%) 2位:国内外の優れた公演等(14.9%) 3位:親子やファミリーで楽しめる公演等(14.4%)
1年間の文化芸術活動状況 (区民:問8 中学生:問5)	1位:生活文化(11.9%) 2位:美術(9.7%) 3位:クラシック音楽(6.9%) ※活動実施率:30.7%[23.9%]	1位:クラシック音楽(17.4%) 2位:美術(13.4%) 3位:生活文化(10.7%) ※活動実施率:38.4%[37.3%]
文化芸術活動をしなかった理由 (区民:問13 中学生:問9)	1位:きっかけがない(36.0%) 2位:仕事や家事、育児が忙しい(31.0%) 3位:興味・関心がない(19.2%)	1位:興味・関心がない(43.8%) 2位:きっかけがない(38.9%) 3位:勉強や部活、習い事が忙しい(38.4%)
区の伝統芸能・郷土芸能の認知度 (区民:問14 中学生:問11)	1位:田遊び(23.9%) 2位:獅子舞(12.3%) 3位:祭り囃子(7.2%) ※認知度:31.9%[37.0%]	1位:獅子舞(44.5%) 2位:田遊び(24.8%) 3位:祭り囃子(10.9%) ※認知度:61.8%[32.9%]
区の文化財の認知度(区民:問16 中学生:問12)	1位:志村一里塚(51.9%) 2位:板橋(51.4%) 3位:縁切榎(41.9%) ※認知度:74.5%	1位:志村一里塚(25.6%) 2位:板橋(25.1%) 3位:伝統工芸(9.4%) ※認知度:48.0%
文化芸術に関する情報の入手方法 (区民:問18)	1位:広報いたばし(52.6%) 2位:ポスターや看板、車内広告(29.5%) 3位:インターネット(25.2%)	—
区の文化の特徴を表現しているもの (区民:問21 中学生:問13)	1位:絵本のまち(29.2%) 2位:自然と歴史と文化のまち(23.6%) 3位:文化芸術活動が活発なまち(22.3%) 3位:伝統文化等を継承するまち(22.3%)	1位:自然と歴史と文化のまち(27.0%) 2位:伝統文化等を継承するまち(22.7%) 3位:文化芸術活動が活発なまち(22.6%)
文化施設の訪問度・満足度 (区民:問22 中学生:問14)	訪問度	1位:区立文化会館(62.1%) 2位:区立図書館(57.6%) 3位:グリーンホール(45.5%)
	満足度	1位:区立文化会館(71.9%) 2位:区立図書館(70.0%) 3位:区立美術館(68.5%)
文化施設が利用されるために重要なこと(区民:問23 中学生:問15)	1位:情報をわかりやすく提供等(59.1%) 2位:誰もが気軽にくつろげる空間(58.5%) 3位:板橋ならではの文化に触れる(18.2%)	1位:誰もが気軽にくつろげる空間(54.7%) 2位:多言語等ユニバーサルデザイン推進(28.0%) 3位:情報をわかりやすく提供等(27.7%)

設問	区民	区内中学生
子どもの文化芸術活動に必要な取組み(区民:問24 中学生:問16)	1位:子ども参加・体験型事業(62.1%) 2位:学校での文化芸術教育充実(43.6%) 3位:子ども対象の鑑賞機会充実(43.5%)	1位:子ども参加・体験型事業(53.3%) 2位:学校へのアーティスト派遣(27.2%) 3位:学校での文化芸術教育充実(24.6%)
区における文化芸術施策の満足度(区民:問25)	個性あふれる文化芸術の創造(29.1%) 伝統文化の継承(28.9%) 多様な文化芸術情報の収集発信(25.9%)	—
今後区が重点的に取り組むべきこと(区民:問26)	1位:伝統文化の保存・継承・周知(52.4%) 2位:子ども等の文化芸術機会(50.6%) 3位:板橋らしい文化芸術創造支援(29.8%) 3位:文化芸術情報を区外発信(29.8%)	—

設問	区外住民
1年間の文化芸術鑑賞状況(問1)	1位:映画(38.3%)、2位:美術(23.3%)、3位:ポピュラー音楽(15.5%) ※鑑賞率:59.8%
1年間の文化芸術活動状況(問2)	1位:ポピュラー音楽(5.2%)、2位:美術(5.0%)、3位:生活文化(4.5%) ※活動実施率:18.8%
「文化的なまち」として魅力あるもの(問5)	1位:自然と歴史と文化のまち(30.0%) 2位:歴史的価値のある文化財が残るまち(29.7%) 3位:伝統文化や郷土芸能を継承するまち(25.7%)
地域の文化芸術を盛んにするために必要なこと(問6)	1位:伝統文化を保存・継承・周知(36.8%) 2位:その地域らしい個性ある文化芸術活動の創造・支援(28.8%) 3位:子どもや若者が文化芸術に触れる機会を充実させる(28.2%)

## (2) 多文化共生に関する調査・主な項目

設問	外国人区民	日本人区民
住みやすさ/定住(外国:問10・問11 日本:問7・8)	住みやすい(95.0%)[94.9%] 区内に住み続けたい(87.9%)[90.0%]	住みやすい(92.5%)[94.3%] 区内に住み続けたい(87.9%)[89.6%]
地域でのつきあい(外国:問24 日本:問13)	あいさつする程度までの日本人がいる(60.2%)[74.2%]	あいさつする程度までの外国人がいる(23.7%)[20.3%]
日本での生活で困りごと、心配ごと(外国:問29 日本:問17)	1位:健康保険・年金・税金など(38.5%) 2位:病院・医療(24.7%) 3位:災害・緊急時対応(23.7%)	1位:ゴミの出し方等生活ルール(70.3%) 2位:災害・緊急時対応(60.6%) 3位:行政情報の日本語の難しさ(55.9%)
災害に関する地域活動への参加意識(外国:問33 日本:問20)	町会等の活動(防災訓練など)(59.7%) 避難所での通訳者としての活動(57.0%) 外国人同士の協力体制づくり(56.6%)	町会、自治会の活動(防災訓練など)(59.1%) 避難所での通訳者としての活動(64.5%) 外国人同士の協力体制づくり(62.8%)
外国人の災害対策(外国:問34 日本:問21)	1位:多言語マニュアル・マップ配付(45.3%) 2位:多言語情報伝達体制(36.2%) 3位:インターネット・SNS発信(30.9%)	1位:多言語マニュアル・マップ配付(62.0%) 2位:多言語情報伝達体制(45.1%) 3位:インターネット・SNS発信(33.2%)
子育て・教育に関する困りごと等(外国:問39・40 日本:問24)	<保育所等に通う子どもがいる方> 1位:自国の言語・文化(56.4%) 2位:子育て・教育費用(49.3%) 3位:相談先がわからない(32.4%)	<15歳以下の子どもがいる方> 外国人が増えることの子育て・教育への影響 1位:多様な価値観を受容(80.8%) 2位:連絡がうまく伝わらない(72.6%) 3位:保護者同士の連携が不安(67.1%)

設問	外国人区民	日本人区民
	<小中学生の子どもがいる方> 1位:子育て・教育費用 (48.4%) 2位:自国の言語・文化 (43.3%) 3位:相談先がわからない (35.1%)	
多文化共生事業の認知度 (外国:問 42 日本:問 25)	1位:日本語教室 (21.7%) 2位:転入者へのWelcomeパック (13.7%) 3位:多言語リーフレット (11.1%)	1位:海外友好都市との交流事業 (24.2%) 2位:公共施設・標識等多言語化 (13.4%) 3位:区役所窓口での通訳対応 (10.4%)
海外都市との交流に期待すること (外国:問 43 日本:問 26)	1位:文化交流 (60.7%) 2位:国際平和 (44.0%) 3位:青少年・教育交流 (33.7%)	1位:文化交流 (60.9%) 2位:国際平和 (50.8%) 3位:青少年・教育交流 (41.9%)
日本人がした方がよいと思うこと/望むこと(外国:問 45 日本:問 28)	1位:外国の文化・生活習慣理解 (26.7%) 2位:日本語・日本の習慣紹介 (18.7%) 3位:日頃から外国人住民と会話 (15.9%)	1位:外国の文化・生活習慣理解 (30.7%) 2位:日頃から外国人住民と会話 (23.2%) 3位:日本語・日本の習慣紹介 (16.1%)
多文化共生施策の満足度 (外国:問 46 日本:問 29)	1位:施設・案内サイン等多言語化 (50.0%) 2位:やさしい日本語の使用 (46.6%) 3位:行政文書の多言語化 (46.2%)	1位:施設案内サイン等多言語化 (23.0%) 2位:やさしい日本語の使用 (14.8%) 3位:行政文書の多言語化 (12.4%)
今後重点的に取り組むべき施策 (外国:問 47 日本:問 30)	1位:災害や緊急時対応 (24.1%) 2位:日本人との交流機会創出 (23.6%) 3位:日本人の外国文化への理解(22.9%)	1位:災害や緊急時対応 (43.8%) 2位:外国人の子どもへの日本語教育 (34.4%) 3位:外国人との交流機会創出 (31.8%)

#### 4 調査結果の活用

この調査結果は、今後設置を予定している「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン検討会」及び庁内調整会議における検討資料とし、庁内はもとより区民、各団体、学識経験者などの意見を伺いながら、「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2025」の策定に向け活用していく。

#### 5 調査結果の報告・公表

2月18日の区民環境委員会に報告後、区ホームページ、区政資料室、区立各図書館、文化・国際交流課窓口にて公表する。